

茨木市国土強靭化地域計画「重点的に実施する具体的な取組」
— 令和5年度 進捗状況 —

個別施策分野

(1) 行政・消防機能・防災教育等

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	公共施設等の減災対策の推進	市役所の災害時の業務継続性確保のため、給油配管を新設した。また、南市民体育館の特定天井改修を行い、令和6年度以降対策が必要な特定天井の対応の方向性を整理した。さらに、市立小中学校の便所、外壁、外周塀改修や、エレベーターの設置を行った。	↗
2	業務継続体制の強化	業務継続体制の改善のため、業務継続計画の見直しを行った。また、高機能消防総合情報システムや無線機器等の維持管理や保守点検を継続するとともに、災害時用衛星電話の定期メンテナンスや通話確認を継続して実施している。	↗
3	災害発生時の配備体制	避難誘導訓練や屋内消火栓の取り出し訓練のほか、全国瞬時警報システムを用いた放送訓練を実施している。また、消防支援情報システムの点検や訓練のほか、職員用備蓄食の更新、市の風水害対応タイムラインの作成を行った。	↗
4	財務処理体制の確保	財政調整基金について、災害等の緊急時に備え、引き続き充実を図った。	→
5	安全な避難体制及び避難所生活環境の確保	市民体育館や小中学校 19校の体育館空調設備工事を行った。また、5団体の地域版避難所運営マニュアルの作成支援を実施するとともに、市ホームページにおいてペットの災害への備えについて周知を継続している。	↗
6	消防・救急体制の充実	署団合同訓練を実施したほか、車両等の計画的な更新を実施した。また、地域の防災訓練では消防団や参加者による放水訓練やAEDを使用した救命講習、担架作成・搬送訓練を実施した。さらに、用水利（消火栓）の新規設置を進め、消火体制の充実を図った。	↗
7	広域的な応援・受援体制の充実	応援・受援体制を充実させるため、受援計画の見直しを行った。さらに、緊急消防援助隊、大阪府下広域消防相互応援協定等における見直し箇所を確認するとともに、民間企業9社と災害時応援協定の締結を行った。	↗
8	市民会館跡地エリアの防災機能充実	市民会館跡地エリア内に防災拠点機能も有する文化・子育て複合施設おにくるが竣工した。	↗
9	防災教育等の推進	全市立小中学校、こども園・幼稚園において、防災訓練及び防災教育を実施するとともに、小学4年生を対象として水害・土砂災害ハザードマップを活用した防災教育を4小学校で試行した。	↗

◆ 重要業績指標（KPI）

参考指標	計画策定期		目標		令和5年度
	数値等	年度	数値等	年度	数値等
① 市有建築物における安全対策が未完了の特定天井	8か所	R2	0か所	R11	5か所
② 消防団員数	507人	R1	550人	R2	486人

(2) 住宅・都市

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	都市の不燃化の促進	彩都東部地区、南目垣・東野々宮地区では、土地区画整理事業による市街地整備を実施するとともに、駅前三丁目若草線等の歩道改良事業により、まちづくりと地域の安全・安心を支えるみちづくりを行った。さらに、JR茨木駅西口駅前周辺整備事業では基本計画（素案）の作成や、阪急茨木市駅西口駅前周辺整備では権利者に対して整備スキームの提案を行った。	↗
2	住宅・建築物の耐震化	民間住宅の耐震診断89件、耐震改修25件、除却31件について、補助金を交付することで、民間住宅及び建築物の耐震化を促進した。また、通報等があつた管理不全空家の所有者に対し、文書や直接訪問により適正管理の働きかけを行い、災害発生防止を図った。	↗
3	上下水道の供給・機能確保の推進	上水道管（延長約8.6km）の耐震化整備を実施し、重要給水施設への管路の耐震化を3箇所完了した。また、下水道施設における重要な管渠の耐震化工事を約0.2km完了し、老朽化対策として管渠改良工事を69m実施した。	↗
4	文化財施設等の保護	文化財防火デーに合わせて消防訓練を実施し、防災意識を啓発した。	→
5	仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の早期確保	奈良町B、C地区、寺田町A地区の地籍調査を実施するとともに、奈良町B地区では大阪府へ認証請求を行い、被災後に早期復興するための環境整備を行った。	↗
6	都市公園施設の長寿命化	鮎川公園、くすのき公園、沢良宜浜公園、総持寺公園の4公園で再整備工事を実施し、都市公園の長寿命化を図った。	→

◆ 重要業績指標（KPI）

参考指標	計画策定時		目標		令和5年度
	数値等	年度	数値等	年度	数値等
① 民間住宅の耐震化率	81.7%	H26	95%	R7	92.7%
② 耐震化済み重要給水施設数	1か所	H30	35か所	R14	23か所
③ 基幹管路の耐震管率	42.7%	H30	63.0%	R14	53.6%
④ 下水道施設における重要な管渠の耐震化率	95%	H30	100%	R7	99.5%

(3) 保健医療・福祉

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	医療・福祉関係施設における災害対応体制の強化	大阪府茨木保健所主催の合同災害訓練に、茨木市医師会、市災害医療センターとともに参加し、災害対応体制の理解を深めた。	→
2	医療関係団体との連携による医療物資等備蓄の促進	医薬品及び医療用資機材について、指定医療救護所11か所での備蓄体制を維持した。	→
3	避難行動要支援者支援の充実	避難行動要支援者名簿を更新し、民生委員・児童委員に提供した。	↗
4	D M A T や他自治体からの受援体制	地域防災計画や受援計画等に基づく避難者支援体制を維持した。	→
5	被災者のこころの健康支援の充実	市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、必要に応じ、学校からの要請を受け、緊急支援を実施した。また、地域防災計画や対策部別マニュアル等に基づく避難者支援体制を維持した。	→
6	感染予防・衛生環境の維持	市ホームページにおいて災害と感染症についてのページを公開し、市民への周知を継続した。	→
7	避難者の健康管理	地域防災計画や対策部別マニュアル等に基づく避難者支援体制を維持した。	→

(4) 環境・エネルギー

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	エネルギー供給の確保	個人住宅への太陽光パネルや燃料電池・蓄電池等の設置費用を補助した。また、中小企業の新エネルギー設備導入に対して、設置費用を補助した。	↗
2	災害廃棄物の処理体制の確保	事業者と受援協定を締結し、連絡協議を行うとともに、仮設トイレの確保についての連絡事業者選定等の府内協議を行った。また、ごみ処理施設の基幹的設備改良工事が竣工し、摂津市のごみ受け入れに伴う災害廃棄物処理可能量を見直しを行った。	↗
3	有害物質の拡散防止	化学物質を取り扱う事業所に立ち入りを行い、有害物質の適正管理の指導を行うとともに事業所より提出された化学物質管理目標に基づき、有害物質の削減進捗状況の確認を行った。また、火薬類、高圧ガス製造事業者にも立入検査を行い、適正な維持管理、法令遵守及び保安対策等について指導を行った。	→

◆ 重要業績指標（KPI）

参考指標	計画策定期		目標		令和5年度
	数値等	年度	数値等	年度	数値等
① 再生可能エネルギー導入件数（年間）	289件	H30	300件	R11	800件

(5) 情報通信

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	市民への情報伝達手段の多様化	防災行政無線を用いた屋外スピーカーや市公式SNS、固定電話・FAXに情報配信を行うサービス等の多様な情報発信手段を維持した。	→
2	防災行政無線等の適正管理	防災行政無線を適切に維持管理を行い、情報伝達訓練等に利用した。また、医療機関等とのMCA無線を使用した訓練に参加した。	→

(6) 産業・農業

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	企業等における事業継続体制の確立に向けた支援	市ホームページにおいて、事業者に対して災害リスクや事前対策の必要性等を発信し、事業継続計画の普及啓発や取組意欲の喚起を行った。また、事業継続計画の作成シート雛形を掲載し、作成支援を行った。	→
2	帰宅困難者対策の充実	災害時の出勤・帰宅体制についての項目を事業継続計画の作成シート雛形に掲載し、計画策定の啓発を行った。	→
3	中小企業者・農林業者への復興支援の充実	災害に備え、中小企業者の復興に向けた支援について、適切な措置を講じるための関係機関との連携・協力体制の確保に努めた。	→
4	農地・森林等の復旧対策、ため池の防災対策	災害に備え、森林整備ボランティアやため池管理者との連携・協力体制を維持した。	→
5	農地・森林等の保全	農地等の荒廃防止に備えて、鳥獣被害防止関連団体との連携・協力体制を維持した。また、森林組合や森林整備ボランティア団体等により森林整備を行うとともに森林サポーター養成講座を開講し、森林整備ボランティアの育成に努めた。	→

(7) 交通・物流

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	幹線道路網等の整備及び維持管理	「道路の整備に関するプログラム」に掲載している庄中央線の歩道改良を推進した。	↗
2	交通インフラの防災対策	「道路の整備に関するプログラム」に掲載している田中町西河原線等の歩道改良事業を推進することで、通学路等の生活空間における安全・安心を確保した。	↗
3	帰宅困難者対策	帰宅困難者の一時滞在施設の確保に向けて、施設管理者と協議を実施した。また、JR茨木駅西口駅前周辺整備事業における基本計画（素案）を作成するとともに、阪急茨木市駅西口駅前周辺整備では、権利者に対し整備スキームを提案した。	↗

(8) 国土保全

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	都市型水害対策	雨水管整備を実施するとともに、老朽化した水路の改修や補修を行い、機能向上・長寿命化の促進を図った。	↗
2	河川等・水路の管理体制	雨量・水位テレメータの保守点検、無停電電源装置及び雨量発信機の更新を実施し、機能維持を図った。	→
3	土砂災害対策の強化	普通河川及び水路の浚渫・草刈等を実施し、流下能力の確保を図った。また、都市部の土砂災害警戒区域内に居住する住民に対して、土砂災害リスクや避難行動について戸別訪問により説明を行った。	↗
4	防災行動の普及啓発	出前講座において、風水害に備えたタイムライン等に関するワークショップを行った。	→

【横断的分野】

(1) リスクコミュニケーション

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	避難行動の周知啓発	水害・土砂災害ハザードマップを使用した説明会や出前講座を実施した。	→
2	防災訓練の充実	大規模災害時の円滑な避難所開設・運営を目指すため前年度に引き続き避難所開設・運営訓練を2地区で実施した。また、山間部における土砂災害に備え、山間部土砂災害対応拠点を中心に、消防団等と連携した訓練を実施した。	↗
3	住宅における防災意識の普及啓発	広報誌にて、各家庭で飲料水を備蓄するよう啓発する記事を掲載した。また、地域主催の防災訓練にて、家具固定に関するチラシの配布やキットを使用した家具転倒防止対策の重要性に関する啓発を実施した。	→
4	地域における防災意識の普及啓発	一時避難地の防災設備の使い方などに関して、事前学習を行った防災士から地域住民へ説明する機会を設け、防災意識の啓発を図った。	↗

(2) 人材育成

◆ 施策の取組状況

施策内容		令和5年度の取組内容	進捗状況
1	被災者支援対応人材の育成	新規採用職員を対象に災害対応に関する研修を実施し、災害時の行動について意識付けを行った。また、住家被害認定調査等研修会に参加し、スキルアップを図った。	→
2	災害ボランティアの充実	災害に備えて社会福祉協議会との連携・協力体制を維持した。	→
3	地域の研修の開催	自主防災組織の構成員を対象に、防災士資格取得にかかる費用の補助を行った。また、地域防災リーダー育成研修会や避難所開設運営訓練を通じて、地域防災力の向上を図った。	↗

◆ 重要業績指標（KPI）

参考指標	計画策定期		目標		令和5年度
	数値等	年度	数値等	年度	数値等
① 自主防災組織結成率	93.75%	R1	100%	R11	90.62%